

小児科

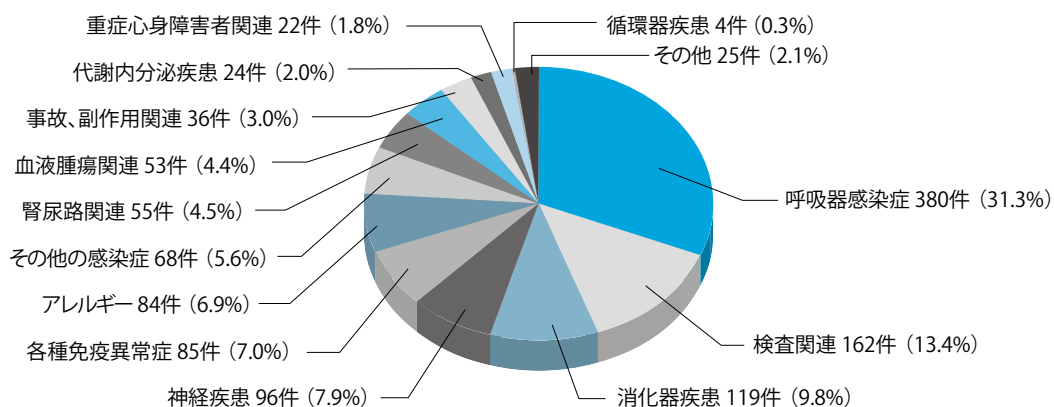
1. 概要

当小児科病棟スタッフは皆、東三河地域の最後の砦を担うという誇りと緊張感を持って日夜対応している。サブスペシャリティとしては、アレルギー疾患、神経疾患、循環器疾患、腎疾患、内分泌疾患、血液腫瘍疾患をカバーし高度特殊医療を除けば各分野ともに専門施設と比べても引けを取らない医療レベルを提供できている。また、患者さんには最善の医療を提供すべく、各分野で対応困難な症例については惜しみなく専門施設との連携をとって対応している。このような体制を維持する意義は、極力地域で医療が完結することが患者さんご家族への最高のサービスの一つとなることにある。特に長期入院を必要とする場合、月に何度も専門外来にかかる必要がある場合には切実な問題である。一方で、周囲の一次医療、二次医療、休日夜間診療所の業務、健診医療の充実に支えられてこそ当院が二次、三次医療に集中することが可能であるということも忘れてはならない。

(第二部長 伊藤 剛)

●疾患別頻度

総件数：1,213件



【国際学会】

小児科第二部長 幸脇 正典 (XI World Congress of Perinatal Medicine 19–22 June 2013
Moscow, Russia)

Spontaneous movements in the supine position of healthy term infants and preterm infants with or without periventricular leukomalacia

Masanori Kouwaki, PhD¹. Mitsuko Yokochi, OTR². Yasuko Togawa, MD³. Takeshi Kamiya, RPT⁴.
Kenji Yokochi, PhD⁵.

¹Department of Neonatal Medical Center, ⁴Department of Rehabilitation Center, Toyohashi Municipal Hospital, Toyohashi, Aichi, Japan

²Department of Rehabilitation ⁵Department of Pediatric Neurology, Seirei-Mikatahara General Hospital, Hamamatsu, Shizuoka, Japan

³Department of Pediatrics Atsumi Hospital, Tahara, Aichi, Japan

Abstract

Aim

The individual motor elements presumed to be essential for motor development were determined from spontaneous movements involving the entire body of normal term and preterm infants. Then, diagnostic items for motor abnormality in infants with periventricular leukomalacia (PVL) were investigated.

Methods

Video recordings of 24 healthy term infants ²¹ normal preterm infants (8 males, 13 females; median gestational age 30 weeks; median birthweight 1216 g) and 14 preterm infants with PVL (6 males, 8 females; median gestational age 30 weeks; median birthweight 1360 g) were analyzed.

Results

In healthy term infants, predominant shoulder rotation was noticed until 1 month of age. After 2 months of age, isolated movements of the shoulder, elbow, hip, knee, and ankle frequently emerged. In preterm infants with PVL at the corrected age of 2 months, startle response and predominant shoulder rotation were more frequently seen and isolated neck, shoulder, elbow, hip, knee, and ankle movements were less frequently seen than in the normal preterm infants (Fisher's exact test, $p < 0.025$).

Interpretation

At 2 months of age, isolated movements evolve, and their failure to occur is suggested to be a useful sign for the diagnosis of cerebral motor disorders.

学会発表（医局）

<小児科>

※丸数字は共同研究者を示す

No.	演 題 名	発表者及び 共同研究者	学会・研究会名	発表年月日
①	GLUT 1 欠損症の 1 例	中村 勇治	第38回日本小児神経学会東海地方会	2013/1/19
②	ジストニア症状と汎下垂体機能低下を呈したgerminomaの一例	田中 達之	第38回日本小児神経学会東海地方会	2013/1/19
③	新生児科医としてできる少子化対策—中学生・高校生に“いのちの大切さを伝える授業”を作ってみよう！	川瀬 恒哉	第15回新生児呼吸療法モニタリングフォーラム	2013/2/15
④	当院における2012年のCTによるAutopsy imaging(Ai)施行症例に関する検討とその意義について	神原 祐一	第35回東三医学会	2013/3/9
⑤	東三河地域小児医療の現状と問題点2012、時間外小児医療(小児救急)について	大林 幹尚	第35回東三医学会	2013/3/9
⑥	インフルエンザ流行期に発熱と頭痛を主訴に来院した男児例のピットフォール	小山 智史	第258回日本小児科学会東海地方会	2013/5/19
⑦	COL4A1変異の臨床病型の広がり:孔脳症から裂脳症まで	萩野 谷和裕	第55回日本小児神経学会学術集会	2013/5/29
⑧	染色分体早期解離症候群(PCS症候群:premature chromatid separation syndrome) 3 例の頭部MRI所見の検討	杉本 真理	第55回日本小児神経学会学術集会	2013/5/30
⑨	発症 1 年後にシクロフォスファミドパルス療法を行い、急速に改善した抗NMDA受容体脳炎の 1 例	相場 佳織	第55回日本小児神経学会学術集会	2013/5/31
⑩	超低出産体重児における血清総ビリルビン値に基づいた黄疸管理に関する検討	山田 崇春	第49回日本周産期・新生児医学会総会および学術集会	2013/7/14
⑪	後天性小腸閉鎖を合併した超低出生体重児の一例	川瀬 恒哉	第49回日本周産期・新生児医学会総会および学術集会	2013/7/14
⑫	胎児期より腹部嚢胞を認め先天性胆道拡張症が疑われた二例	櫻井 典子	第49回日本周産期・新生児医学会総会および学術集会	2013/7/16
⑬	当院での初回尿路感染症後の精査について(The American Academy of Pediatrics (AAP)のガイドライン(2011)と比較して)	金原 有里	第49回中部日本小児科学会	2013/8/25
⑭	白血病で肝生検を行った 2 例	慶田 喜孝	第62回東海小児血液懇話会	2013/9/17
⑮	劇症型心筋炎の一剖検例	田中 達之	第259回日本小児科学会東海地方会	2013/10/6
⑯	赤血球濃厚液、新鮮凍結血漿、濃厚血小板を混合した血液の性状に関する検討	小山 典久	第58回日本未熟児新生児学会	2013/11/30
⑰	Partial trisomy 3 q/partial monosomy 9 p の従姉妹例	小山 智史	第58回日本未熟児新生児学会	2013/11/30
⑱	当院における在胎27週未満の早産児の呼吸管理状況に関する検討	山田 崇春	第58回日本未熟児新生児学会	2013/12/2

研究会発表（医局）

<小児科>

※丸数字は共同研究者を示す

No.	演 題 名	発表者及び 共同研究者	学会・研究会名	発表年月日
①	「著名なCA125の高値を示した乳児悪性肝腫瘍の1例」	慶田 善孝	第63回東海小児がん研究会	2013/2/2
②	豊橋市民病院小児科における在宅医療適応患者の実態と課題	田中 達之	第166回東三河小児科医会 症例検討会	2013/4/17
③	当院における川崎病とD-dimerの関係性について	横井 克幸	第33回東海川崎病研究会	2013/5/25
④	当院における出生体重500g以下の児の臨床経過と発達予後の検討	長柄 俊佑	第22回東海新生児研究会	2013/11/16

座長・司会（医局）

<小児科>

No.	演 題 名	座長名	学会・研究会名	発表年月日
1	産婦人科 岡田真由美「産科統計2012」、ほか	小山 典久	東三河 周産期・産科医療に関する講演会	2013/3/6
2	循環 4	小山 典久	第49回日本周産期・新生児医学会総 会および学術集会	2013/7/16
3	タンデムマス法による新しい新生児マ ウススクリーニングについて	小山 典久	第168回東三河小児科医会講演会	2013/9/14
4	症例検討	幸脇 正典	周産期医療講演会	2013/10/31
5	特別講演	小山 典久	周産期医療講演会	2013/10/31

講 演（医局）

<小児科>

※丸数字は共同講演者を示す

No.	演 題 名	演者名	学会・研究会名	年月日
1	新生児統計2012	幸脇 正典	東三河 周産期・産科医療に関する講演会	2013/3/6
2	見逃してはいけない小児の疾患・症状について	小山 典久	豊橋内科医会研修会	2013/5/23
3	与えられた命と生きる意味を考える～ 小児がん医療の現場から～	伊藤 剛	牟呂中学校講演会	2013/6/17
4	子供のかかりやすい病気と対処	小山 典久	豊橋市保育協会講演会	2013/7/10
⑤	重症新生児仮死で出生した乳児重症型 ネマリンミオパチーの1例	川瀬 恒哉	第39回日本小児神経学会東海地方 会	2013/7/20
⑥	軽微な外傷に伴う線維性軟骨塞栓に起 因する前脊髄動脈症候群	長柄 俊佑	第39回日本小児神経学会東海地方 会	2013/7/20
⑦	MRI拡散強調像で橋に高信号領域を認 めた片麻痺性片頭痛の1例	中村勇治	第39回日本小児神経学会東海地方 会	2013/7/20
8	Consensus2010に基づく蘇生後のケア ～血糖モニタリングの重要性と脳低体 温療法について～	川瀬 恒哉	周産期医療講演会	2013/10/31
9	新生児における適正な輸血について	小山 典久	平成25年度第3回東海北陸ブロッ ク内血液センター医薬情報担当者 研修会	2013/11/26
10	豊橋市内の小児結核患者-コッホ現象 陽性例の経過-	小山 典久	BCG予防接種講演会	2013/12/7
11	新生児期・乳幼児期早期(3ヵ月未満) の自発運動症候学	幸脇 正典	脳性麻痺神経学の会(浜名湖セミ ナー)	2013/12/8

論文・著書（医局）

<小児科>

※丸数字は共同研究者を示す

No.	題名	発表者及び 共同研究者	雑誌名
①	新生児科医としてできる少子化対策-中学生・高校生に“いのちの大切さを伝える授業”を作ってみよう！	菅沼 真由佳	日本未熟児新生児学会雑誌 25巻, 85-87頁, 2013年
②	Magnetic resonance imaging in neonates with total asphyxia	Hiroshi Sugiura	Brain&Development 35巻, 53-60頁, 2013年
③	Spontaneous movement in the supine position of healthy term infants and preterm infants with or without periventricular leukomalacia	Masanori Kouwaki	Brain&Development 35巻340-348頁, 2013年
④	Phenotypic Spectrum of COL4A1 Mutations: Porencephaly to Schizencephaly	Yuriko Yoneda	ANNALS of Neurology 73巻, 48-57頁, 2013年
⑤	早産児晚期循環不全発症後のPDA症候化に関する検討	山田 崇春	日本周産期・新生児医学会雑誌 49巻, 994-1000頁, 2013年
⑥	染色分体早期離解/多彩異数性モザイク症候群の1例	長柄 俊佑	日本周産期・新生児医学会雑誌 49巻, 1029-1033頁, 2013年
⑦	A feasibility study on the prediction of acute graft-vs.-host disease before hematopoietic stem cell transplantation based on fetomaternal tolerance.	Hirayama M	Chimerism 4巻, 84-86頁, Epub 2013 Sep 12, 2013年
⑧	Cord blood transplantation combined with rituximab for Wiskott-Aldrich syndrome with autoimmune thrombotic thrombocytopenic purpura.	Toyoda H	J Allergy Clin Immunol. 132巻, 226-227頁, Epub 2013 Mar 14, 2013年
9	早産児の晚期循環不全	小山 典久	小児学会レクチャー 3巻, 1205-1212頁, 2013年
10	新生児敗血症に対する交換輸血は有効である	小山 典久	周産期医学 43巻, 1121-1126頁, 2013年
11	I-5. 病院小児科の現状「豊橋市民病院小児科」について	小山 典久	「東三河地域小児医療の現状と問題点2012」調査報告書 11-12頁, 2013年
12	II-2. 小児二次医療・三次医療	伊藤 剛	「東三河地域小児医療の現状と問題点2012」調査 22-23頁, 2013年
13	II-3. 周産期・新生児医療	幸脇 正典	「東三河地域小児医療の現状と問題点2012」調査 23-24頁, 2013年
14	II-4. 小児在宅医療	小山 典久	「東三河地域小児医療の現状と問題点2012」調査 23-27頁, 2013年